

なめがた市民 100 人委員会「第 2 班」議事メモ

議論した基本目標	新たな価値を創造し郷土と社会の未来を切り拓く人間の育成
コーディネーター	熊井成和（構想日本特別研究員）
審議員	平山清直（構想日本）
説明担当者（自治体）	生涯学習課、学校教育課
日時	2021 年 6 月 27 日（日）16 時 10 分から 17 時 00 分
その他	参加者数 <u>会場 4 名</u> <u>オンライン： 0 名</u> 欠席者数 <u>20 名</u>

総括

コーディネーター総括

- 行方市の教育方針は「地域人教育」が特徴的。こどものころから行方に愛着を持ち、将来行方に戻ってきてもらうような教育。
- 行方市の生涯学習は子どもに重きを置く中で、座学では学べない生活習慣や生体験など学校教育の補完的役割を担う人間教育。学校教育でも地域とのつながりや社会経験を積ませることを大切にしている。
- 良い取り組みをいっぱいしているのに、知られていない。どう伝えるかより、どう伝わるかを考えてほしい。

協議の流れ（摘録）

協議しているテーマ①「生涯学習」

コ) 振り返り。現状の認識として参加する人が少ない・できる教室が少ない・幅も狭い。都心部にあるこども食堂・児童館などが少ないのでは？郷土に誇りの有るものを培っていく。

地域人教育を行っていく、これが行方市の特徴。子どもたちが小さいときに、大人たちがどのようなことをやっているか知ることで、将来地元に戻ってくることにつながるのでは。

学校教育では、公立幼稚園の話が合った。待機児童ゼロは強み。在宅勤務が進む中で、移住や定住の促進に使えるのでは。一方、利用者減少傾向、保育時間が短いのではという意見。保育園・認定こども園は増えている。

国際教育の話では、人種に関わる意見。子どものころから「普通にいる」という感覚を持つのが良い。ふれあいスタディなど、進んでいるように思う。

論点は、行方市の生涯学習の哲学。人生 100 年時代に行方市が市民に提供できる生涯

委)：委員、コ)：コーディネーター、審)：審議員、市)：説明担当者

学習とは何か？郷土の誇りをどう生涯学習につなげるか。そして地域人教育をどうやって進めていくか。市民が望む生涯学習の機会とは？

また学校教育は様々な施策があるが、この論点は「子どもになにを学んでほしいのか」ということ。学校の役割として何をしてほしいのか、市民はどう携わっていくのか。

- コ)「行方市の生涯学習ってなんですか」と言われたら、どう答えますか？
- 市)幅広いもの、市民一人ひとりが生涯にわたって取り組んでいけるもの。全ての市民が対象だが、特に子どもの基本的な生活・キャリアにつながるものに重点を置いている。
- コ)子どもに重点を置いている。
- 市)人権にも取り組んでいる
- コ)子どもに対しての生涯教育に力を入れている行方市。一つの市の意思ということだが、切り口としてどう思いますか？思い当たるものってありますか？
- 委)工場見学とか。どういうことを知りたいかをシートにして、どういうことを学んだかをまとめたりしている。昔よりそういう機会が増えているのではと思う。佐原市の工場に勤めていた時に、子どもたちが来た。そういうのが増えるのは良いよね。楽しくやると、他の学校もさせてくれと、広がりがある。
- コ)学校単位でプログラムを組んだりしているの？
- 市)子どもに対して支援、保護者に対して支援。地域人材を活用して生涯学習。
- コ)学校教育の場とは別でやっていくと。子どもたちの生活やキャリアの形成のために、学校教育の場面でも体験が増えている。
- 委)警察や消防、職場体験をする機会が増えている。
- 市)中学2年では職場体験をする。職場での受け入れをお願いしている。学校教育課では現場をもっていないので、協力してもらっている。中学生の内から社会経験を積むとか。
- コ)座学でなくて、現場の肌感覚を覚える。生涯学習では生活習慣の改善とかを狙っている。行方市の生涯学習の役割が見えてきた。
- 市)学校教育の場でできないことを補完する役割。土台となるところを生涯学習で担っている。
- コ)公民館とか、わりとほかのところでは余暇活動とか、大人の居場所になっていると思うが、みんなどう思う？
- 委)良い時代になったと思う。学校に行くのにバスはあり、給食が出る。歩くことが減ったから、歩く時間を作っていると聞いた。至れり尽くせりの時代だ。
- 委)自分の子ども時代では、木登りしたり、田んぼでザリガニをとったりとかしていた。身近にあるもので基礎体力が鍛えられていたところはあったと思うが、最近はそのような気がする。
- コ)生体験って大事だね。
- 委)そういうところで、ちょっとけがしたりとかで学ぶことも多かった。痛いことを知っているから、人に痛いことしないとか。

コ) 学校の教科書では学べない、生体験。

市) ちょうど生体験をやってみた。施設内ではあるが自然体験をやった。コロナ禍ではあったけど、満員以上の人気だった。自然の中でやることの大切さ。(自然体験の後に) 東北大学の滝教授の講義でリアルな体験の大切さを聞き、リンクしてすと分かる。

コ) 学校の中で木登りをさせるとかは難しい。そういうのを市で補完しているのはいいよね。

委) バケツの中で稲を育てるとかやった。今はなくなっちゃったかもしれないけど。苗を持ってきてもらって、世話するとか。他にもサツマイモをみんなで作って食べるとか子どもたちはやっていた。今はなくなっちゃったみたいだけど、そういうのって記憶に残っているよう。勉強よりも、実体験なのかな、よく覚えている。

今はキャンプとかそういうのも流行っているし、そういう体験をして学べるのがいいのかも。情報が足りてない。学校に通っている子たちは知っていても、地域の方が知らないこともあって、地域との絡みがあった方が良さそう。

市) いきいきキャンプをやっている。市民会議の委員が加わって、地域女性団体、高校生リーダーなどが指導をするような事業をやっている。最近はコロナ禍で下火だが。

コ) いきいきキャンプ、知ってた？

委) 高校生がやっていることは、私は知っていた。そこらへんのおじちゃん、おばちゃんには知らないかも。

コ) 良いことをやっている！でも知られていないのは惜しい！キーワードになりそう。地域の人を巻き込んで進めていく。いいこととしていて、おもしろい取り組みもあるのに、知られていないところも多い。

生涯学習のあり方。郷土教育の話はある？

市) 行方市は歴史が長い。古文書・歴史に係る内容。

コ) 博物館は？

市) 博物館は無いんだけど、小学校内に歴史資料室を作ってこどもが触れやすいようにしているが、まだ一般公開は出来ていない。

コ) 学芸員いる？

市) 居ないので、手弁当で作った。

コ) いろんな内容があるよね、歴史が長いと。

市) ただ、公開する場が無い。公開するにはもっと整理しなければいけない。学芸員とかいないといけないのかなと思う。

コ) 行方市は惜しいですね。市民の誇りを培う何かがないか？

委) 市内にいいところあるし、夏休みにスタンプラリーがあってもいいよね。学校でやるのは先生の負担が大きいので、市が協力するとか。昔は茨城県でやっていた記憶が。

委) 夏休みの自由研究として行方市の歴史を宿題に出したら知ってもらえるのでは？

市) この夏休みにそんなことを実現しようと動いている。ギガスクール構想を活用し、タブレットを使って、歴史施設の中で親子で調べてもらおうとか。

委) ゲーム感覚でやれるといいよね。

コ) ぜひいろんな人に知ってもらいたい。行方市としての方針として、子どもをメインにというのは大きなポイントだね。コミュニティがどう関わってくるかも大事。資源についても、施設とか整理できてなくても活用していけば。庚申講とかを調べてもらうとかも面白いかもね？

協議しているテーマ②「学校教育」

コ) 7枚の目標シートを1枚にまとめてもらった担当課大変だったと思う。どんな形にまとめたかだけ説明してほしい。

市) 総合戦略は抽象的な内容になりがちで、実施計画という具体的なものが別にあるので、シートにはポイントを絞って載せた。

コ) 学校教育課としては、こどもに何を学んでほしいのか。地域人教育というのは行方の特徴的なテーマだと思う。いろんなやり方でやっていると思うが、香取市では？

審) 香取ではやっていない。地域コミュニティは構想日本でもキーワードになっている。教育も地域コミュニティと密接に関わっている。ふれあいスタディのように、地域でいろんな人種を地域の人が教えている。これはとてもすごい。地域コミュニティで国際交流もしている。

市) ふれあいスタディは小4から中3まで、年間25回程度。日曜日。希望する子が各公民館で教えてもらいたいところを教えてもらう。先生は地域にいる元教員などの人たち。

コ) これも知っている？

委) 知らなかった。良い取り組みだと思う。でも、子どもがいる世帯じゃないと。

市) 広報とかHPにも入れているけど。

委) 広報は見ない。HPは検索しないと見られないからわざわざ見ない。若者はインスタとかtwitterとかYouTubeとかが良い。

コ) ここがヒントでは？どう伝えるかではなく、どう伝わるかを考えるのも良いのでは。ここに「惜しい」から脱却するきっかけになるのでは。

委) 友達から、学校授業だけではほんとに身につけているか不安で学習塾に行かせたいというのがあると聞いた。教師も得意不得意がある。ふれあいスタディのような形で学習塾とは言わないけど行政がやってくれれば、経済的な問題も克服できるような気がする。

コ) 学校だけだと不安という意見、これは大きな投げかけ。経済格差も広がっている中で、大事だね。

委) 学校だけの教育では進学とか間に合わないというのはあるよね。地元の学校教育だけでは無理なんだろうと思う。違う自治体へ行って、教育を求めてというのもあると聞く。

委) 道徳教育が少ないと感じる。これがうまくできていけば、いじめもなくなるのでは。

委) 色んな問題も解決につながっていくかなと思う。押しつけ教育ではだめだけど。家庭

教育も大事なんだけど、学校でも。それを学んでほしい。

市) 道徳教育、人間教育には力を入れている。

コ) 人間教育も大事ですよ。生涯学習って要は人間教育ですよ

改善提案シートの記入。チョットしたメモが役所だけではなく、市全体に良い波及をするのでぜひお書きいただきたい。

ホワイトボードの写真 (コーディネーターが議論をまとめた資料含む)

振り返り 生涯学習

生涯学習

・ 現状認識

- 参加する人が少ない。参加できる教室が少なく、選択の幅も狭いと感じる。
- 都心部にはある児童館的な機能や子ども食堂などが不足しているのではないかな。
- 郷土に誇りを持つためには必要。常陸国風土記の活用、地域に伝わるいわれなどは大切。

・ 行方市の生涯学習のイメージ

- 人生100年時代の行方市の生涯学習とは何か、そのイメージが大切ではないかな。

・ 地域人教育

- 子ども達がキャリアを考える上で、地域人材の活用は重要だと思う。
- 地域の人材が関わることで、子ども達の心の成長につながると思う。
- 子ども達が地域にとどまる要因につながるのではないかな。
- 地域の人材活用は強く進めてほしいと思う。

振り返り 学校教育

学校教育

・ 公立幼稚園

- 待機児童数ゼロは衝撃。在宅勤務も進むので、移住・定住の強みになるのではないかな。
- 利用者は減少傾向。保育園・認定こども園利用が増えている。
- 保育時間が短いのではないかな。朝夕の預かりもある。

・ 国際教育

- 人種にかかわらず通じるものがあるという感覚を子ども時代から持つことが大切だと思う。
- 子ども達に行方を知ってもらうという視点もあると思う。
- 外国の方にも地域人教育を担ってもらう時期がきているのではないかな。

生涯学習

- ・ **人生100年時代に、行方市が市民に提供できる生涯学習とは何か？**
市民が望む生涯学習機会とはどのようなものか？
- ・ **郷土に誇りにつながる生涯学習とはどのようなものか？**
郷土の誇りを生涯学習につなげるために必要なことは何か？
- ・ **地域人教育を進めるための大切なことは何か？**
- ・ **具体化するための、行政の役割は何か？ 市民・地域ができることは何か？**

学校教育

- ・ **子ども達に何を学んでほしいのか？**
 - **地域人教育で何を学んでほしいのか？**
→子ども達は地域の何を学ぶことができるのか？
→ 国際教育面で地域在住外国人から何が学べるか？
→子ども達の将来のために、今のコミュニティと子ども達の関係はどうあるべきか。
 - **全国一律のカリキュラムに加え、行方市の特徴として何を得てほしいのか？**
→これから外に向かって、幅広い活躍の場がある子ども達に、行方市の何を得てほしいのか？
→キャリアノートをどう活用するのか？
 - **柔軟な考え方を持っている子ども達に、今、何を学び取ってほしいのか？**
→教科書の記述を実感できる実体験は、どうしたら提供できるだろうか？
- ・ **具体化するための、行政の役割は何か？ 市民・地域ができることは何か？**

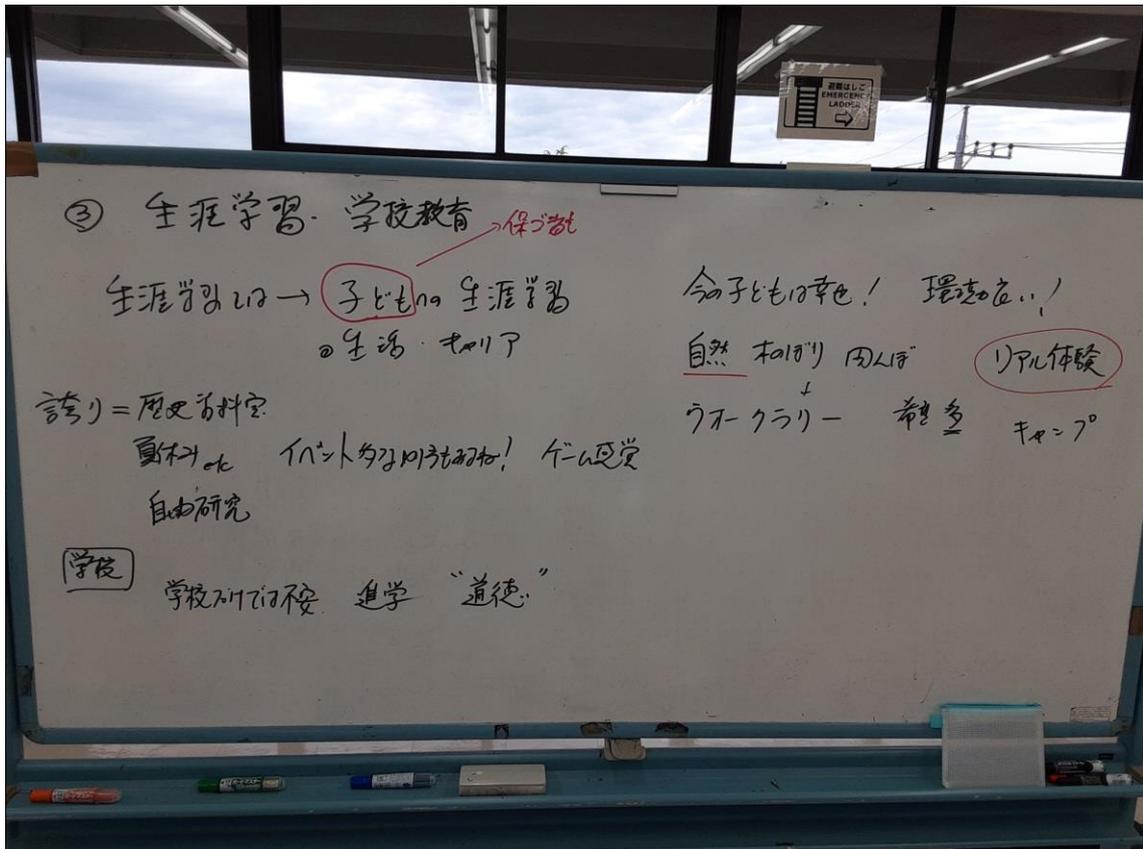
次回の委員会へ向けて

次回の委員会に向けて

次回は……

今日話し合ったテーマについて
もう少し掘り下げます。

今日話し合われなかったこと
話し忘れたこと
その後に気づいたこと
新しいアイデア
などをお寄せください。

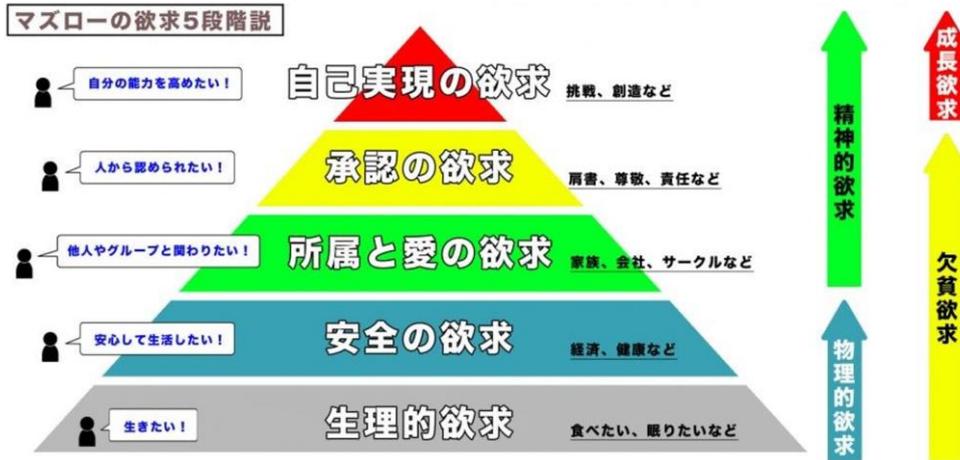


委) : 委員、コ) : コーディネーター、審) : 審議員、市) : 説明担当者

参考データ

マズローの欲求5段階説

コミュニティ、定住、移動手段、生涯学習、学校教育



委)：委員、コ)：コーディネーター、審)：審議員、市)：説明担当者